

FURUTECH NCF Booster

¥32,800+税

- 設置寸法：電源コネクター下部が床面より18mm以上
- 寸法/質量：W94×H80～×D99.7mm/580g



NCF Booster-Signal

¥19,800+税

- 設置寸法：コネクター下部が床面より44mm以上
- 寸法/質量：W94.1×H82.5～×D99.7mm/280g
- オプション：トップクランプ¥13,800+税 (NCF Boosterには付属)

- 共通オプション：エクストラシャフトバー¥3,000+税 (10本入り)
- 問合せ先：フルテック(株) ☎03(6451)3941

ケーブルを支えて潜在能力を引き出す フルテックのNCF Boosterシリーズ

改善効果は予想以上

NCF Boosterは、フルテックが昨年発表したアクセサリーで、電源プラグやケーブル類の脱着を防止するとともに、制振効果と静電気除去、振動吸収等の作用によってAV機器や電源

のパフォーマンスを向上させるもの。そのバリエーションモデルとしてクレイドルがフラットな「NCF Booster Signal」も登場。クランプが必要ない状況やケーブルインシュレーターとしての使いみちを新たに提案している。本アイテムの、改善効果の秘密は、

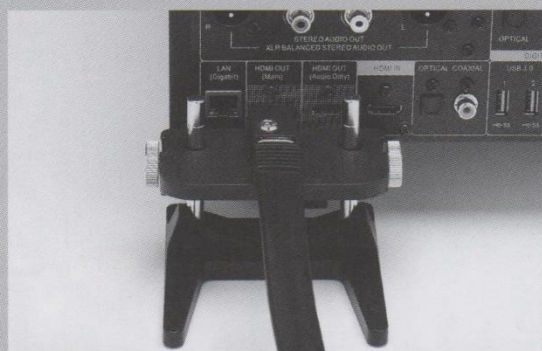
素材と構造にある。素材については、独自技術による「NCF」が肝だ。これは静電気除去効果を持つ材料をナイロン樹脂に混ぜて成型。構造面の効果がそこにプラスされ、クランプ部やベースユニットの重さによる振動抑制と合わせ、ケーブルやコネクター等の本来の性能を引き

出すことに成功。さらに脱着防止による確実な接点コンタクトも、ベストなコンディションを引き出す一助となっている。もっひとつのキーポイントは、調節ネジとシャフトバーによって高さが調整できることだ。シャフトバーを連結していけば、機器のインレットが高い位置や壁コンセントが高い場合にも対処できる。今回発売されたフラット・クレイドル型の「Signal」は、ケーブルのコネクターを下から支えるのに便利(従来型は、ACプラグ等を挟むのに具合がいいよう曲面形状になっている)。AV

ケーブル交換並みの効果が得られる、2種のブースター

NCF Boosterの2モデルはそれぞれ推奨使用方法が異なっている。
代表的な使用例を紹介するので、ぜひ参考にしてください

NCF Booster-Signal



HDMI端子

NCF Booster-Signalは端子を支える面が平坦になっているため、HDMIやUSBケーブルの端子にも効果的。写真のオッポデジタルUDP-205は、HDMI端子の下端が44mm以下だったため、インシュレーターで本体の高さを増している。なお～Signalではオプション扱いのトップクランプ(上側の面)を使って端子を挟み込むと、さらなる効果を期待できる



ケーブルフローティング

端子部での使用に限らず、複数個の製品を使って写真のようにスピーカーケーブルをフローティングさせることも推奨されている。この使い方では、床からの振動を効果的に吸収/制御することができるという

NCF Booster



電源インレット

NCF Boosterは、自重で接続が緩くなりがちな電源ケーブルの端子に使うことが想定されている。写真は、付属のクランプを使ってしっかりと端子を挟み込んでいる状態。下側のクランプは、左右のシャフトバーに対してネジで固定する仕組み。これで高さの調整ができる



壁コンセント

壁コンセントの端子をしっかりと挟み込む方法も効果的だ。ここではオプションのエクストラシャフトバーを2本ずつ追加して、高さを調節している

ファンには、外れたり脱落しそうなHDMIケーブルに対策できるのがうれしい。このNCF Booster-Signalを、自宅にてオッポデジタルのユニバーサルプレーヤーUDP205のHDMI端子部に使ってみた。本アイテム1台で、ちょうど映像用/音声用の2本のHDMIケーブルを下から支えることができるのだ(ただし、Signalのベースユニットが高く、一番低い位置でもそのままでは設置できないため、インシュレーター等を用いてUDP205本体を少し持ち上げねばならない)。

こうした箇所、とかくHDMIケーブルはだらんと垂れ下りがちだが、NCF Booster-Signalによってそれが解消でき、精神衛生面でもよい。映像面では、S/Nの向上とコントラスト感のアップ、音声面ではどっしりとした重心の安定感と音場の立体的な広がりを感じ取れた。効果は予想以上で、HDMIケーブルをワンランク上のものと交換したぐらいの印象を受ける。

既発のNCF Boosterは、私は壁コンセントや機器に常用している。その対象のひとつが、ネットワークトランスポート、オーレンダーW200の電源プラグ。ステレオサウンド・オリジナルのリファレンス電源ケーブルをここに差し込んでいるが、馬力感のアップとS/Nの向上が感じられる上に、ステレオイメージがさらに広がりをもって再現される。もはや外せなくなっているアイテムなのだ。